

Financial Results Briefing

決算説明資料

2026年3月期第1四半期

2025年8月8日

ギークス株式会社

東証スタンダード：7060

目次

Contents

1. 業績ハイライト	2
Financial Highlights for FY2026/3	
2. セグメント別業績	8
Financial Results by Segment	
3. 付録	14
Appendix	

Financial Results Briefing

業績 ハイライト

Financial Highlights
for FY2026/3 1Q

1

Key Messages

Key Messages

2026年3月期 1Q 業績

- 売上高63.7億円（前年同期比9.4%増）
- 営業利益**1.8**億円（前年同期比**127.9**%増）
- 主力事業の国内IT人材がグループの成長を牽引、シードテックも会社計画を上回る着地となり、第1四半期時点における営業利益は**過去最高**となった。

2026年3月期 1Q 取り組み

- 過年度に実施した事業ポートフォリオの整理後、当期からIT人材領域に特化した「新生ギークス」としてスタート。
- Seed Techでは中小企業向けデジタル人材提供サービスの準備を進め、7月7日に「DX職 - デジショク-」をローンチ。

2026年3月期 業績予想の修正

- 役職員向けストックオプションの未行使分消滅に伴い、当第2四半期に特別利益74百万を計上。
- これにより、2026年3月期計画の当期純利益を4.7億円に上方修正。（7月31日開示）

2026年3月期1Q：業績ハイライト

FY2026/3 1Q：Financial Highlights

- 売上高63.7億円（前年同期比9.4%増）、営業利益1.8億円（前年同期比127.9%増）と好調な進捗、第1四半期時点で通期計画に対し、営業利益の進捗率が26%超となるのは過去最高。
- 事業ポートフォリオの再構築期を経て、今後のさらなる成長に向けた基盤が整う。

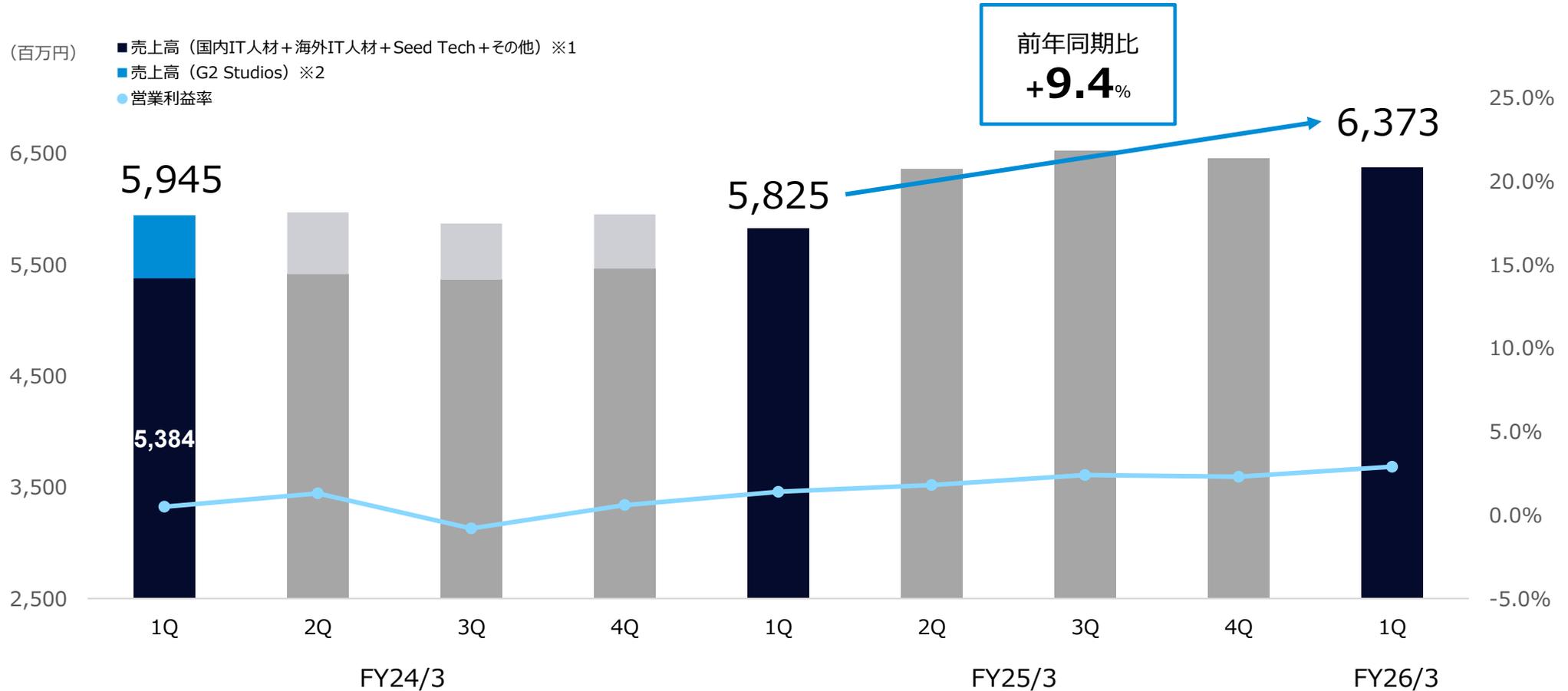
(百万円)	25年3月期 1Q	26年3月期 1Q	前期比	上期計画	通期計画	
					計画	進捗率
売上高	5,825	6,373	+9.4 %	12,200	26,600	24.0 %
EBITDA	107	197	+84.2 %	330	780	25.4 %
営業利益	80	183	+127.9 %	300	700	26.3 %
経常利益	84	180	+114.7 %	280	660	27.4 %
当期純利益※	58	114	+94.0 %	244	474	24.1 %

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2026年3月期1Q：業績ハイライト（売上高・営業利益率）

FY2026/3 1Q：Financial Highlights (Gross Sales, Operating Profit Margin)

- 第1四半期の売上高は63.7億円と、前年同期の58.2億円から5.4億円増収し、継続的な成長を示す。
- 営業利益率は前年同期の1.4%から2.9%へ1.5%上昇し、収益性も着実に回復。

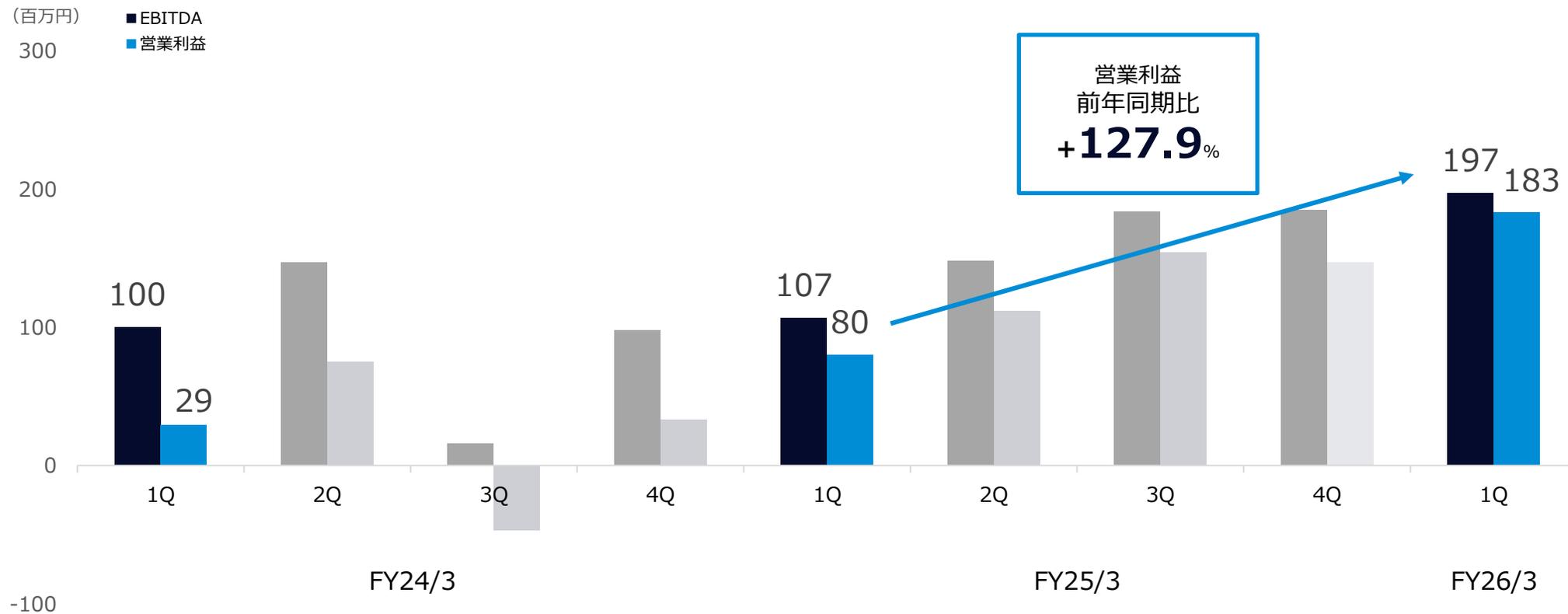


※1海外IT人材は2024/3期第1四半期よりの連結開始、その他事業は2025/3期に一部事業譲渡及び事業撤退し連結対象から除外
※2 2024/3期に株式譲渡を執行、連結対象から除外

2026年3月期1Q：業績ハイライト（EBITDA・営業利益）

FY2026/3 1Q：Financial Highlights (EBITDA, Operating Profit)

- 第1四半期時点における営業利益は過去最高。前年同期と比較し、営業利益は127.9%増、EBITDAは84.2%増と大幅に増加。
- 過年度に実施した事業ポートフォリオの整備により、利益体質が改善され、安定的な収益確保が可能となる。



2026年3月期1Q：セグメント別業績ハイライト

FY2026/3 1Q : Financial Highlights by Segment

- 国内IT人材は売上高41.2億円と過去最高を更新し、セグメント利益も前年同期比17.8%増と、グループの成長を牽引。
- 海外IT人材は売上高21.6億円、セグメント利益はマイナスとなったが、会社計画通りの着地。
- Seed Techはオフショア開発の受注増により、会社計画を上回り第1四半期を終える。

(百万円)		25年3月期	26年3月期	前期比	計画	
		1Q	1Q		通期	進捗率
国内IT人材	売上	3,694	4,127	+11.7 %	17,500	23.6 %
	利益	295	348	+17.8 %	1,400	24.9 %
海外IT人材	売上	2,048	2,163	+5.6 %	8,700	24.9 %
	(AUD million)	20	22	+7.7 %	96	23.5 %
	利益	-36	-4	-	-30	-
	(AUD million)	-0.2	0	-	-0.3	-
Seed Tech	売上	72	95	+31.0 %	400	23.8 %
	利益	-13	-8	-	10	-
全社費用及び調整費		-155	-151	-	-680	-

**セグメント別
業績**

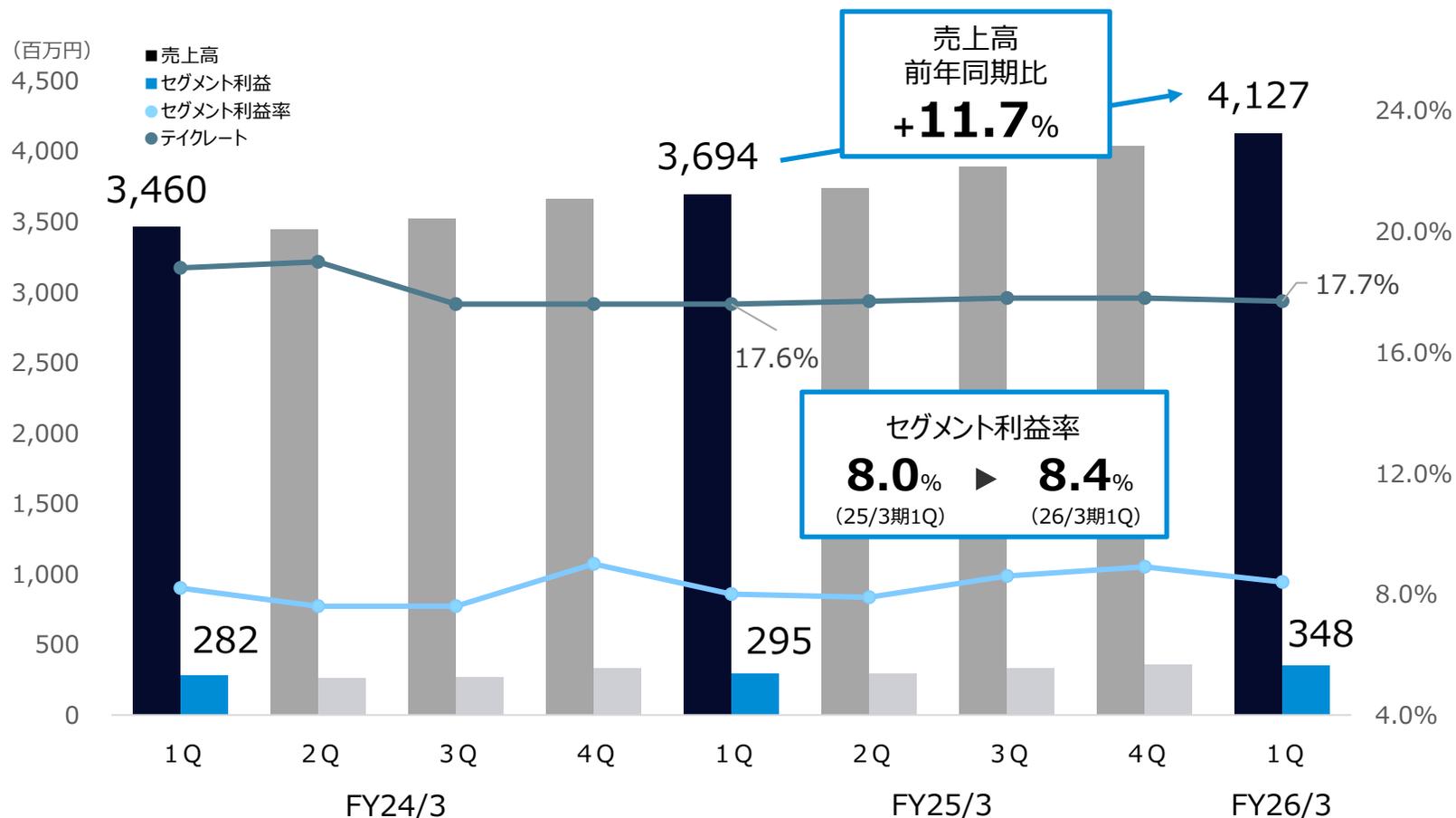
**Financial Results
by Segment**

2

国内IT人材（売上高・セグメント利益・広告宣伝費率）

IT Human Resources Matching Business, Japan (Sales, Operating Profit, Advertising Expense Ratio)

- 第1四半期の売上高は41.2億円（前年同期比11.7%増）と、四半期ベースで過去最高を更新。
- 生成AIの活用により、中途採用を厳選・抑制し、セグメント利益率は前年同期から上昇傾向。
- ITフリーランス領域のテイクレートを17.7%と安定した推移。（前期第4四半期17.8%）



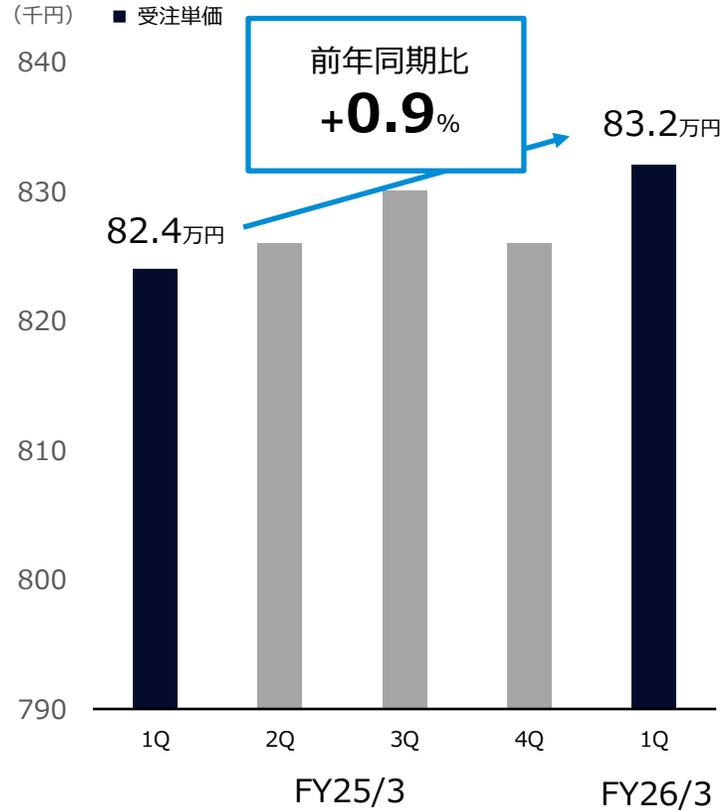
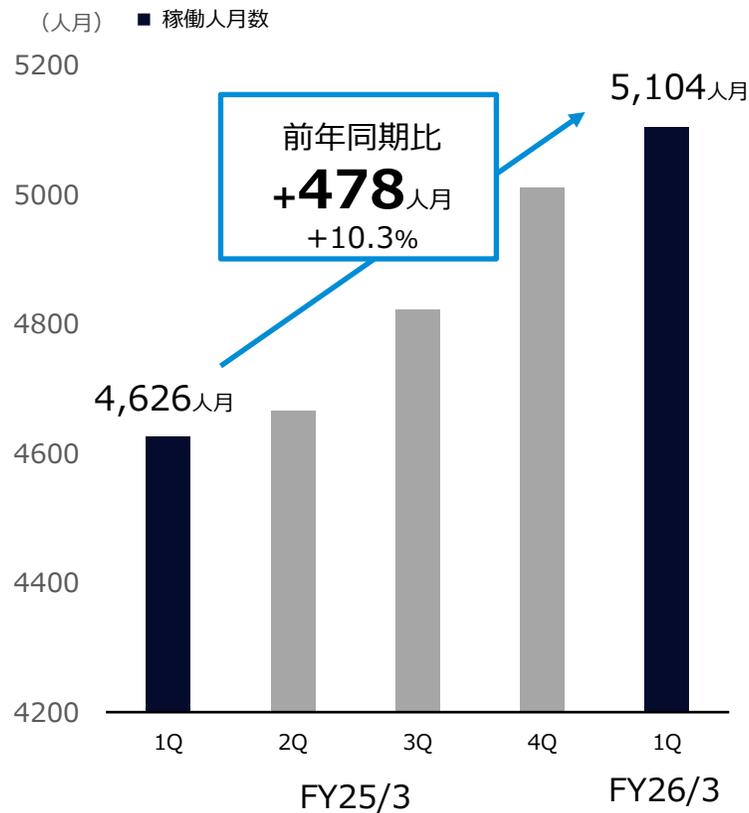
1Q	(YoY)
売上高	4,127 百万円 (+11.7%)
セグメント利益	348 百万円 (+17.8%)
広告宣伝比率	1.2 %

※ テイクレートを取扱高からITフリーランスに支払う報酬額を控除した売上総利益を取扱高で除して算出

国内IT人材（稼働人月数・受注単価）

IT Human Resources Matching Business, Japan (Person-months, Unit Price of Orders)

- 例年3月末はプロジェクトの終了が比較的増えるが、当期は終了数が抑制されたことにより、稼働人月数が着実に積み上がり、5,104人月となった。
- 第1四半期の受注単価は83.2万円に上昇（前年同期比0.9%増）。
- ITフリーランス領域の案件倍率は8.01倍と、需要は引き続き堅調（前年同期7.50倍）。

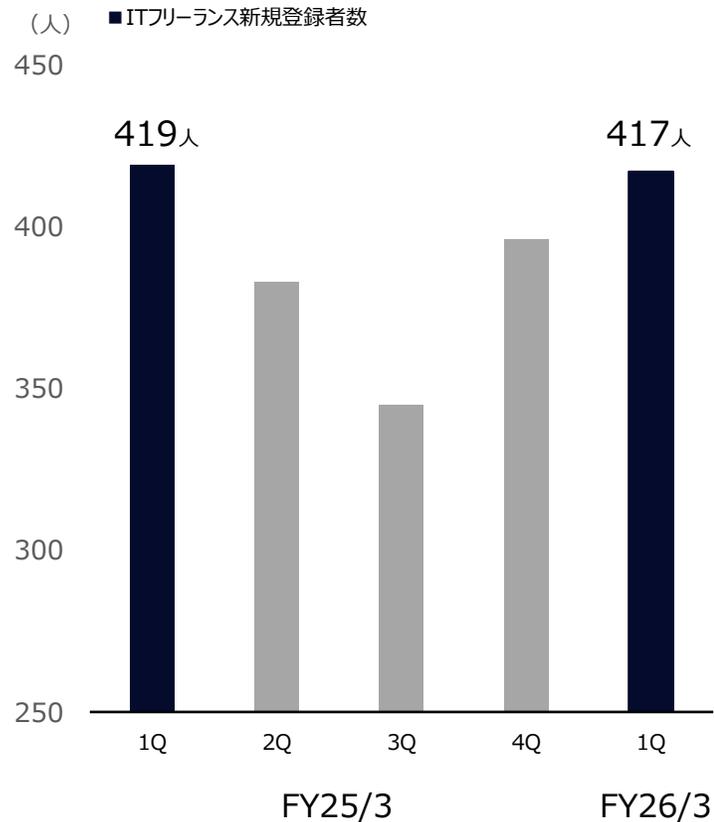
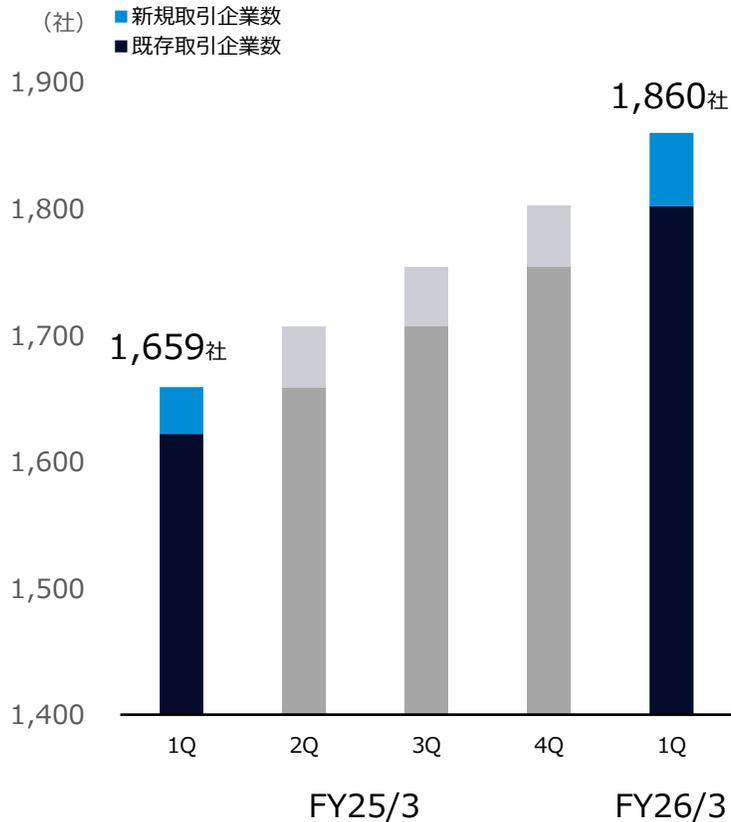


1Q (YoY)	
稼働人月数	5,104 人月 (+10.3%)
受注単価	83.2 万円 (+0.9%)

国内IT人材（取引企業数・ITフリーランス新規登録者数）

IT Human Resources Matching Business, Japan (New Business Partners, New Registrants)

- 新規取引企業数は58社増加し、累計取引企業数は1,860社となった。
- 第1四半期のITフリーランス新規登録者数は417人と、前年同期と同水準を獲得。



1Q

新規取引企業数

58 社

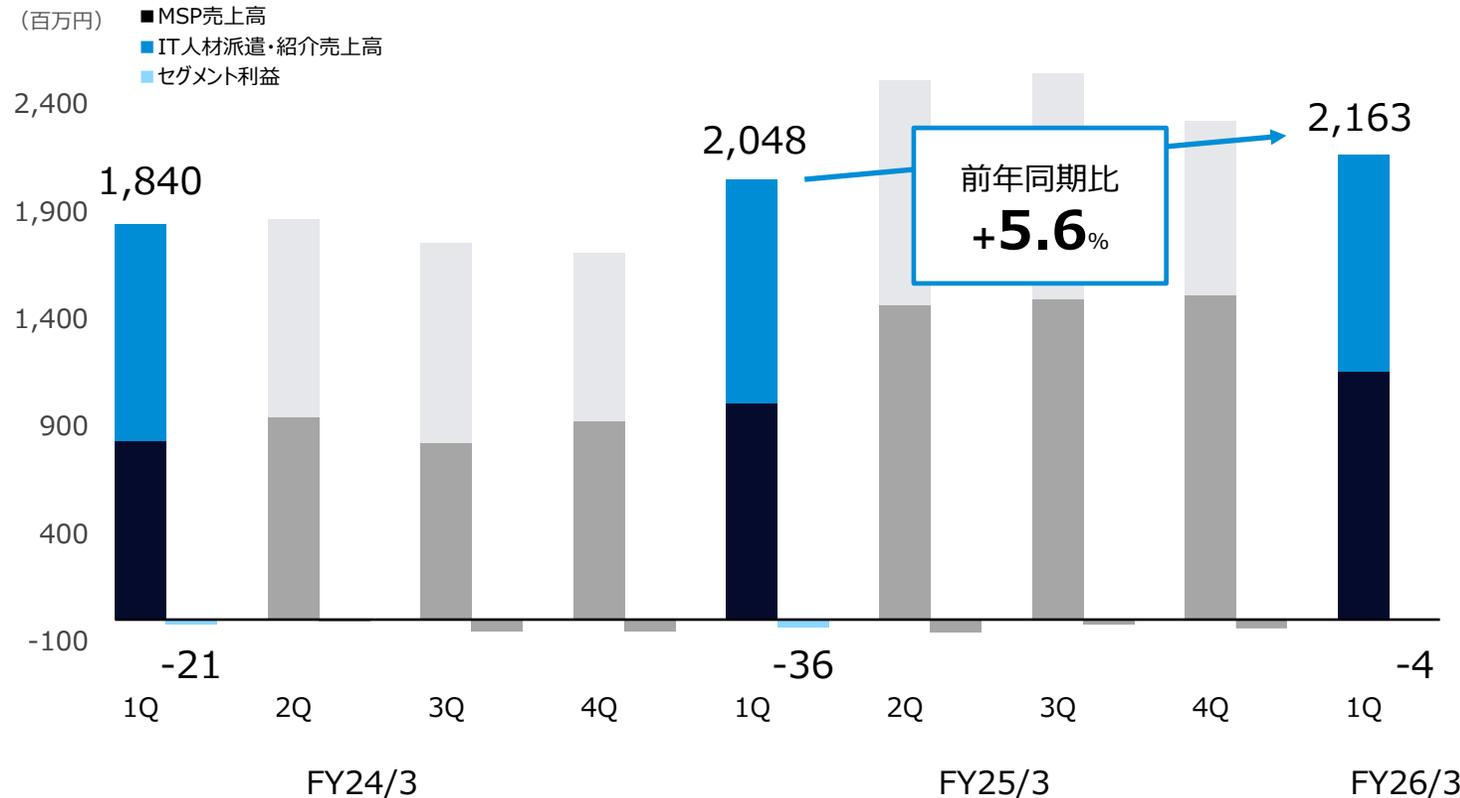
ITフリーランス
新規登録者数

417 人

海外IT人材 (売上高・セグメント利益)

IT Human Resources Matching Business, Overseas (Sales, Operating Profit)

- 売上高は前年同期比5.6%増と、企業の採用活動が抑制された影響を受け、限定的な成長。
- 営業利益はマイナスとなったが、会社計画通りの着地となった。
- 第2四半期にあたる連結決算取込期間（4月~6月）は好調に推移し、上半期は黒字化を見込む。



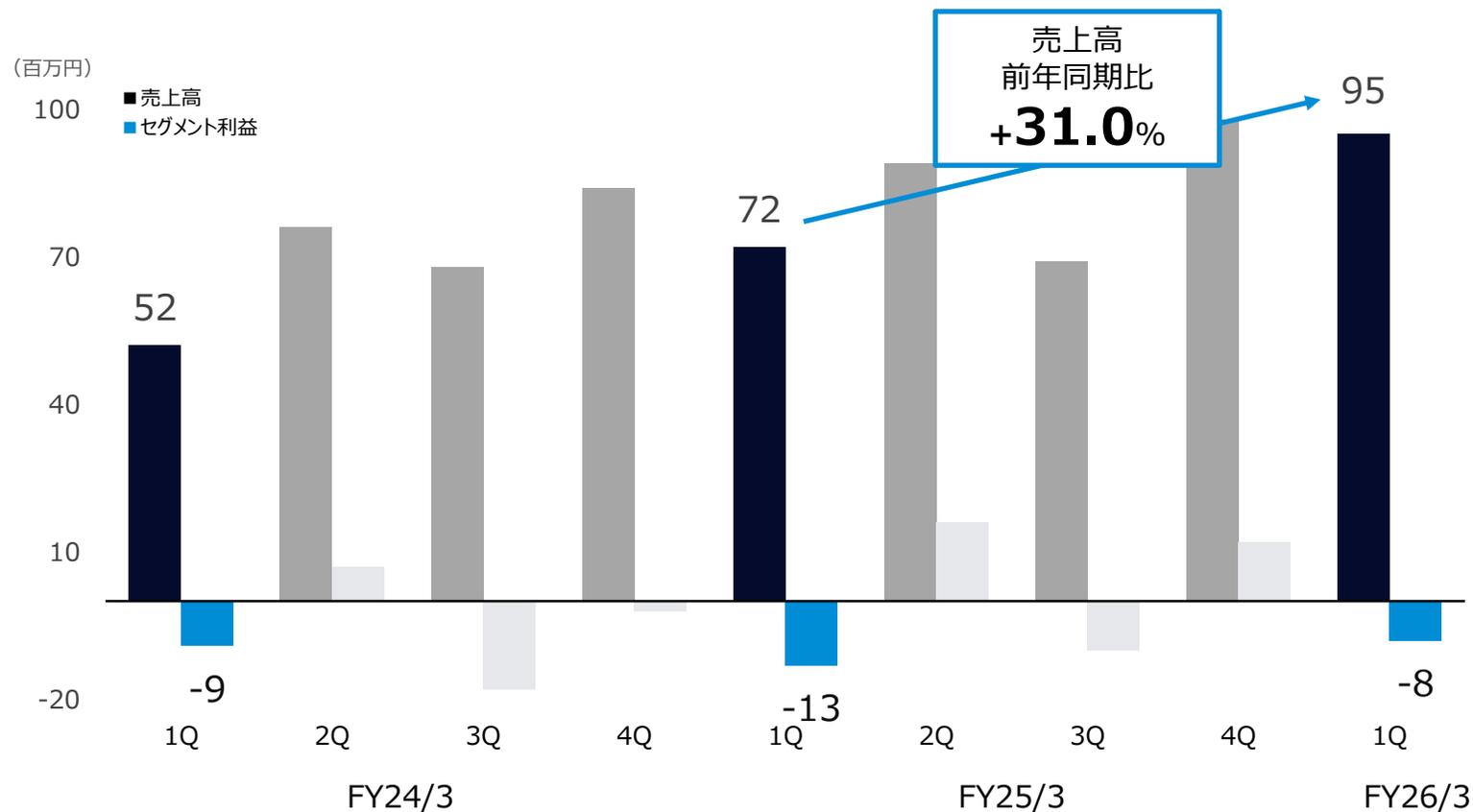
1Q		(YoY)
売上高	2,163	百万円 (+5.6%)
セグメント利益	-4	百万円 (-)

※ Launch社の連結決算取込期間1月~3月。業績は期中平均レートを適用し、豪1ドル=95.72円で日本円換算。期初想定為替レートは豪1ドル=90円。

Seed Tech (売上高・セグメント利益)

Seed Tech (Sales, Operating Profit)

- オフショア開発の受注増により、会社計画を上回る進捗で第1四半期を終了。
- 『ソダテク』では、エンタープライズ企業による数千人規模の利用がスタート。
- 中小企業向けデジタル人材提供サービス『DX職 -デジシヨク-』は、第2四半期よりサービス提供を開始。



1Q	(YoY)
売上高	95 百万円 (+31.0%)
セグメント利益	- 8 百万円 (-)

付録

Appendix

5

GEECHS

[geek × tech]

IT・インターネット領域において
卓越した深い知識を持つ技術集団をパートナーに持ち、
その関わる全ての人の働き方を支援し、
保有するテクノロジーを通じて、様々な価値を提供する

日本のIT人材不足を解決する会社

IT Resource Crisis Is Our Business

*Make the biggest impression
in the 21st century*

私たちは、ITフリーランスの働き方を支援し、

彼らのスキル・経験をIT人材不足を課題とする企業へシェアリングすることはもちろんのこと

海外における**外国人IT人材活用**、法人・個人に関わらずゼロから**デジタル人材育成**や、**リスキリング**による組織内からデジタル人材創出によって、

日本企業のIT・DX・AI活用課題に向き合い、**グローバルにも精通する企業**としてビジネスを提供し続け、

今後の**日本社会に大きく貢献する会社**となります。

ギークスIT人材圏

GEECHS IT Talent Ecosystem

■ 日本の全産業に、デジタル人材で貢献

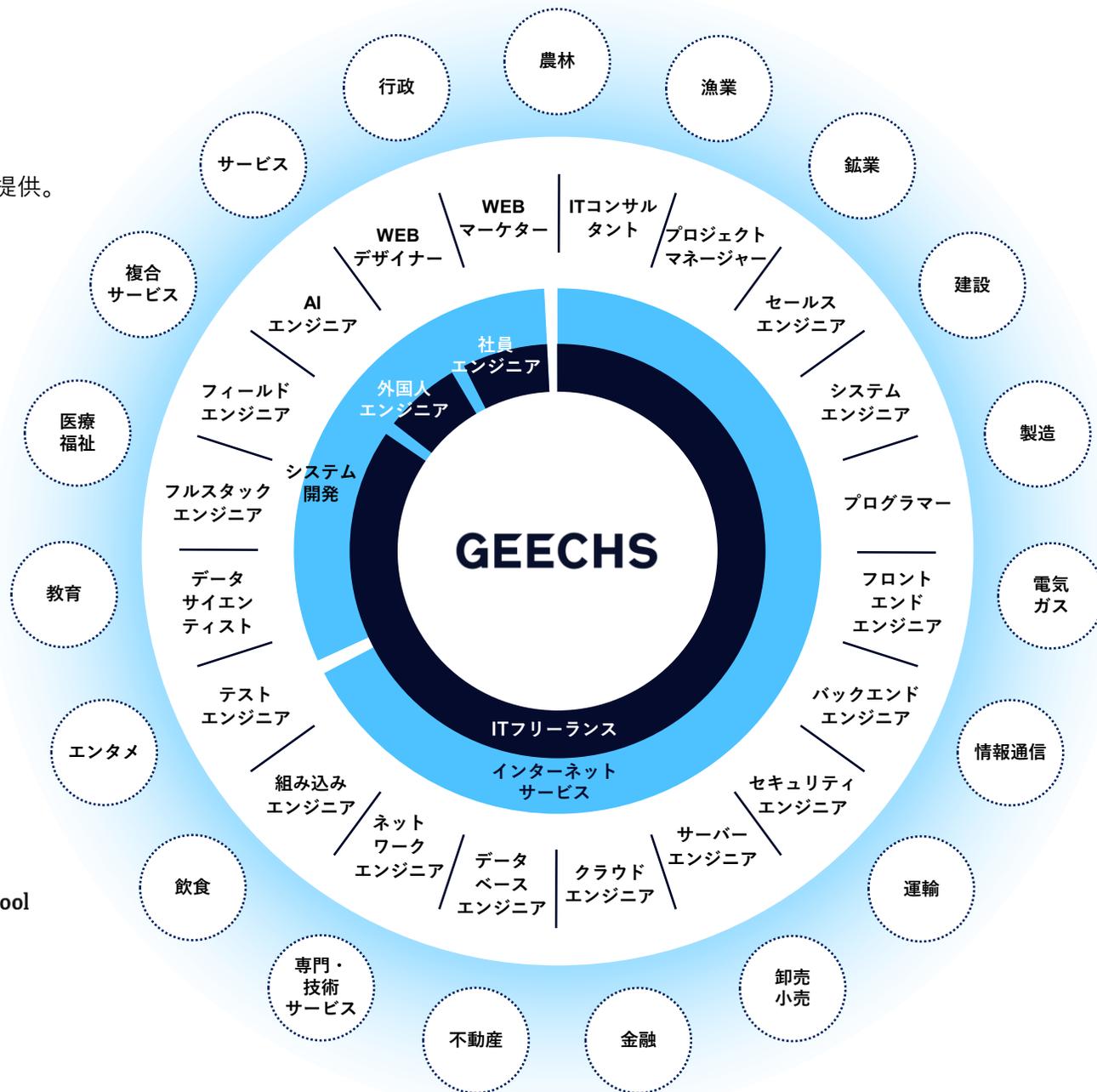
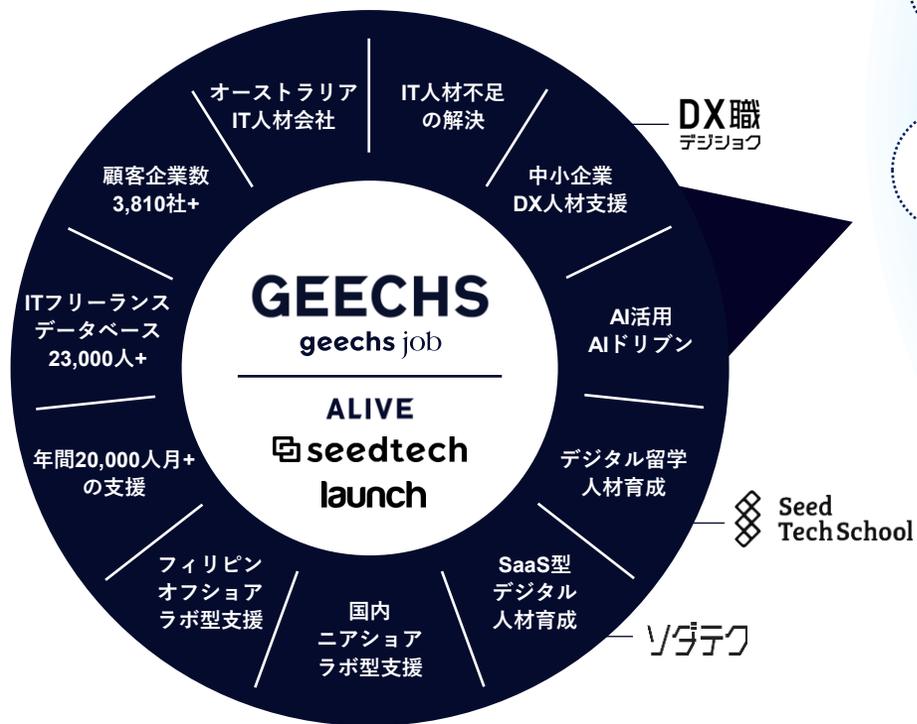
日本のIT人材不足の解決をミッションとし、デジタル人材の力で価値を提供。

■ デジタル人材の多様な働き方を支援

ライフステージやキャリア設計に応じた、最適な人材配置とキャリアの流動性を支援。

■ 非エンジニア層のスキルアップ支援

非エンジニアに対してもデジタル教育を提供、新たなキャリアパスを創出し、デジタル人材の裾野拡大に取り組む。



グループ会社概要

Group Corporate Profile

社名	ギークス株式会社（東証スタンダード：7060）		
代表者	代表取締役CEO 曾根原 稔人		
設立年月日	2007年8月23日		
本社所在地	東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア		
資本金	1,112 百万円〔2025年6月30日現在〕		
役員構成	代表取締役CEO 曾根原 稔人 取締役CFO 佐久間 大輔 取締役 成末 千尋 取締役 高原 大輔 社外取締役 松島 俊行 社外取締役 佃 友貴	常勤監査役 山口 祥子 社外監査役 花木 大悟 社外監査役 仲江 武史	
事業内容	IT人材事業（国内） IT人材事業（海外） Seed Tech事業		
売上規模	25,162百万円〔2025年3月期〕		
従業員数（連結）	297名〔2025年6月30日現在〕		
拠点	東京本社、北海道支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、名古屋サテライトオフィス オーストラリア、フィリピン		

Group Companies

グループ会社

GEECHS

IT人材事業（国内）

launch

IT人材事業（海外）

seedtech

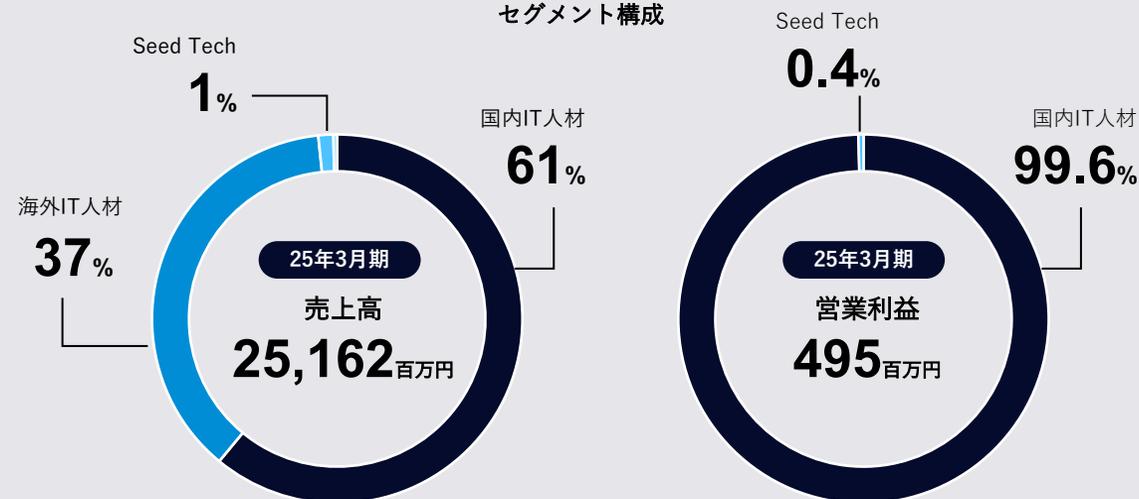
Seed Tech事業

ALIVE

IT人材事業（国内）

Segmentation

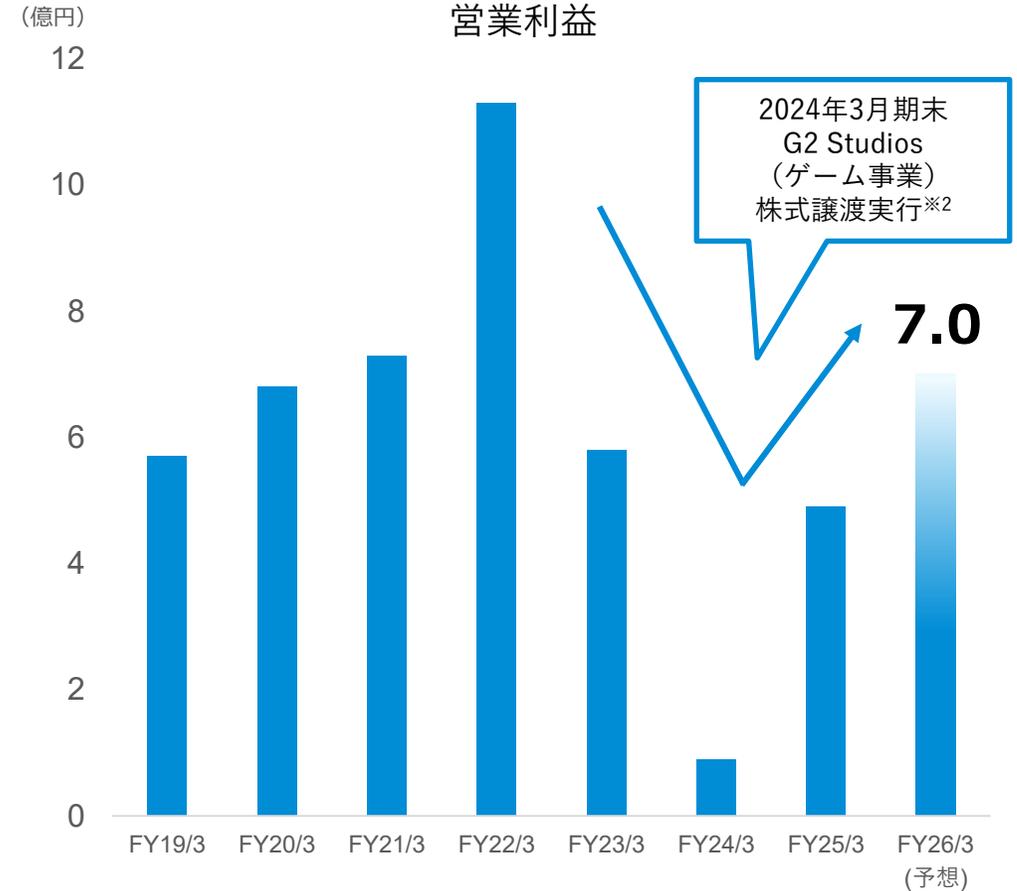
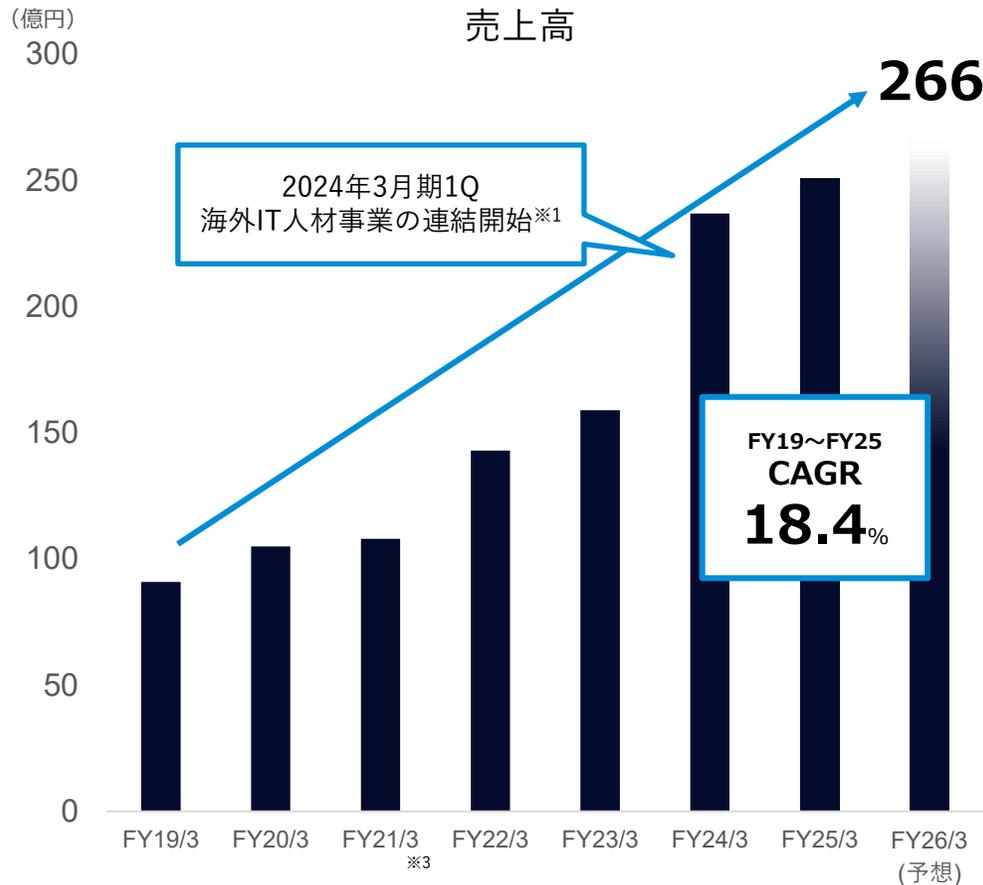
セグメント構成



上場以降の業績推移（売上高・営業利益）

Performance Trend since IPO (Sales, Operating Profit)

- 2019年3月上場以降、右肩上がりで業績成長。今後も国内IT人材領域を中心に事業拡大を計画。
- 2024年3月期第1四半期より海外IT人材事業をM&Aにより連結開始。一方で、2024年3月末に大幅な赤字となったG2 Studios（ゲーム事業）の株式譲渡を実行。事業ポートフォリオの見直しを実施し、2025年3月期には営業利益のV字回復を果たす。



※1 2024/3期第1四半期より海外IT人材の連結開始
 ※2 2024年3月末に株式譲渡を実行し、2024/3期より連結対象から除外
 ※3 2022/3期より収益認識基準を変更しているため、2021/3期以前は取扱高で売上高推移を作成

価値創造サイクル

GEECHS Social Impact Flow



財務資本

- 業績面における好調なCAGRを背景とした成長投資

人的資本

- クロスボーダーマネジメントスキル
- 女性・外国人比率
- オフショア開発オフィス

知的資本

- 技術投資
- 特許・ライセンス
- 技術・ノウハウ蓄積
- 独自の基盤システム

社会・関係資本

- ITフリーランス
- 顧客企業との関係
- 外部パートナー

各国間のノウハウ・リソース統合によるIT人材シェアリングビジネスの進化



※Managed Service Providers(MSP)として独自のVender Management Systemを保有

- MATERIALITY 04** コーポレートガバナンスの強化
- MATERIALITY 05** パートナーシップの形成・拡充
- MATERIALITY 06** 気候変動への対応と対策

働き方の新しい「当たり前」を作る

MATERIALITY 01

技術リソースのシェア・流動化

国内市場 海外市場

GEECHS launch

MATERIALITY 02

DX/IT人材の成長・リスクリング

国内市場 海外市場

ソダテク **Seed Tech School**

MATERIALITY 03

フリーランスが安心して働ける環境の整備

フリノベ
Freelance x Innovation

21世紀で最も感動を与えた会社になる

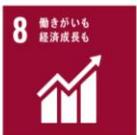
国内外におけるIT産業の成長寄与



雇用創出による途上国や地方の経済活性化



IT人材の成長・創出による社会発展への貢献



国境を越えた協業による産業と雇用機会の拡大



国内IT人材

IT Human Resources Matching Business, Japan

geechs job

(フリーランス)



Strength

- 創業依頼蓄積されてきた独自のデータとノウハウによるマッチング力
- 企業の人事担当者レベルで的確にニーズを把握する解像度
- メンターとしてエンジニアに寄り添うサポート力

ALIVE

(正社員)

“正社員×長期伴走”
IT人材会社



Strength

- エンタープライズ企業に対し、長期配属の安定稼働
- 顧客の成長戦略に寄り添い伴走するプロフェッショナル人材
- 正社員を中心に、顧客ニーズに合わせたハイブリッドチーム提案

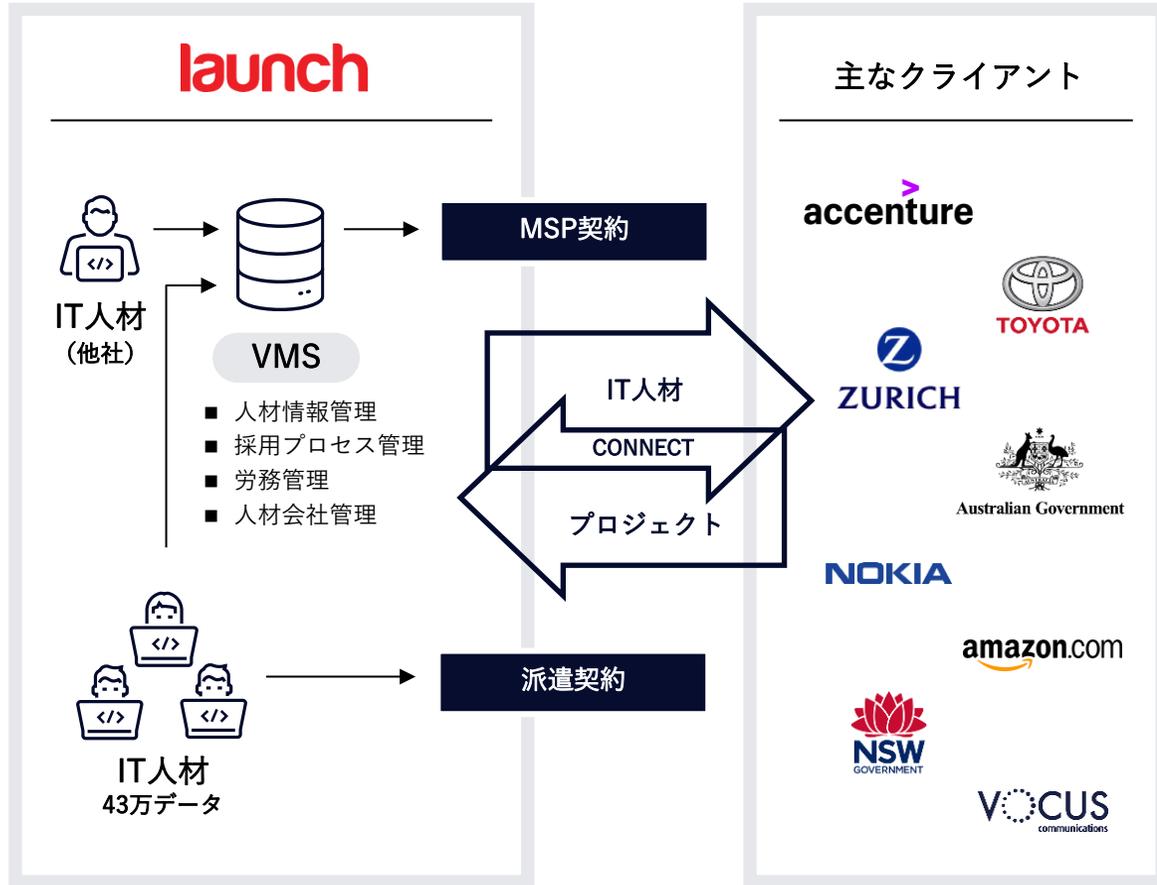
フリーランスから社員への登用

フリーランスを含めたハイブリッドチーム提案

1. **長年の実績を持つITフリーランスエージェント**
ITフリーランスのシェアリングエージェントとして長年業界のトップ企業との取引を有する。厳選したハイスキルなITフリーランスの登録者数は23,000名を超える。
2. **正社員×ITフリーランスのハイブリッド提案**
エンタープライズ企業に対し、伴走型の支援サービスを提供。長期的なサポートにより顧客課題を解決。更に、ITフリーランスを組み合わせた柔軟なハイブリッドチームの組成も可能。
3. **雇用形態の捉われないIT人材サポート**
ITフリーランスから正社員への登用に柔軟に対応し、IT人材のライフステージに合わせた活躍の場を提供するギークスIT人材循環サイクルを構築。

海外IT人材 (Launch Group)

IT Human Resources Matching Business, Overseas (Launch Group)



1. オーストラリアIT人材サービス先駆者

2006年設立のIT人材サービスベンチャーとしての信頼と実績。
顧客の約50%以上が、5年以上の継続取引を有する。

2. 豊富かつ専門性の高いIT人材データベース

43万人超のIT人材データベースを保有し、年間のIT人材の稼働者数は7,500人月を超える。インフラ&クラウド、ソフトウェア開発、セキュリティ等、幅広いIT分野での人材提供が可能。

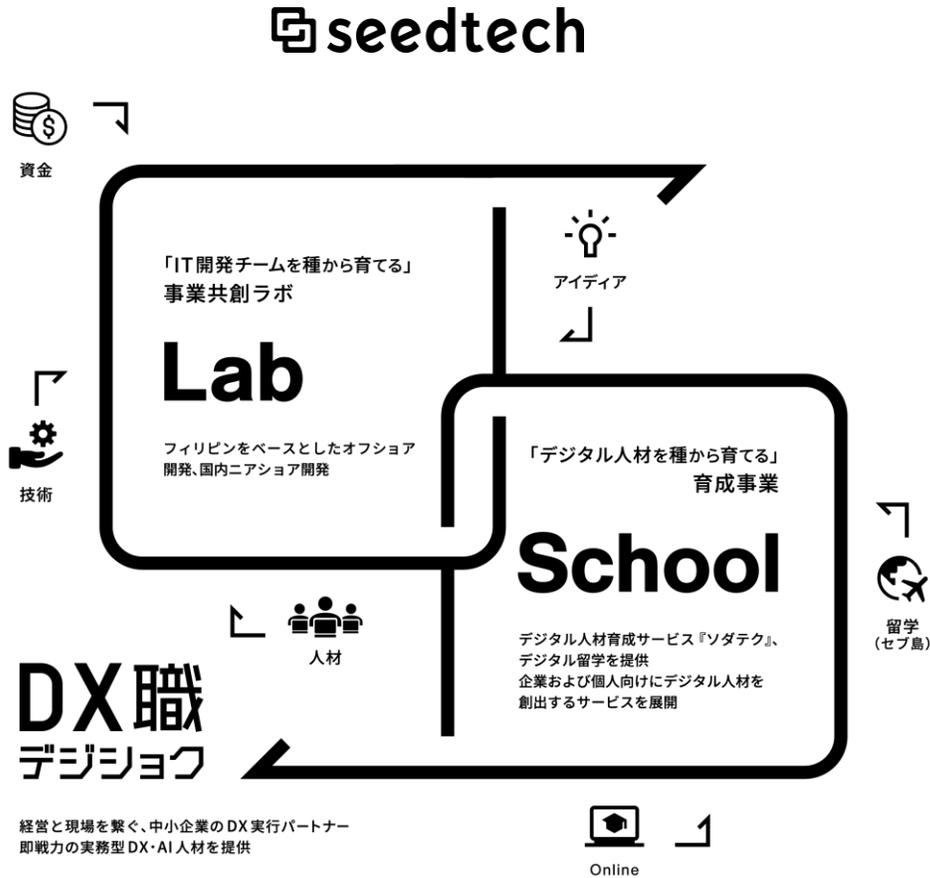
3. IT人材派遣・人材紹介・MSP事業の展開

IT人材派遣・人材紹介に加え、MSPを通じて顧客の人材調達プロセス全体を包括的に支援することで、長期的な契約関係と強固な顧客基盤を構築。独自開発のVMSにより、複雑化するカジュアル雇用やオンサイト人材の管理課題にも対応し、安定的かつ効率的なサービス提供を実現。

※MSP : Managed Services Providers

※VMS : Vendor Management System

顧客の人材調達に関わるマーケティングから契約に至る一連のプロセスを包括的に行う人材管理ソリューション



1. デジタル人材を“種”から育成

[IT・DX・AI人材育成サービス”ソダテク”]

SaaS型 人材育成プラットフォームを法人・個人向けに500本以上の動画教材を提供。未経験・非ITエンジニア層のリスキリングから、現場で活躍できるデジタル人材の育成まで幅広く支援。

[デジタル留学]

英語×プログラミングやデジタル人材スキルを、短期集中で学ぶ合宿型の実践カリキュラムを海外で展開。エンジニア転職・副業支援までを一貫サポートし、グローバル人材を輩出。

2. 中小企業向けデジタル人材提供サービス

自社で育成したデジタル人材を核に、企業課題に寄り添う実務型DX・AI人材を提供。上流からの課題解決を通じて、DX支援・システム開発・人材育成と有機的に連携し、価値創造を最大化。

3. グローバル開発チームによる事業共創型ラボ

国内外のエンジニアを活用した開発チームを提供。採用・育成・マネジメントまで一気通貫で支援し、“成功する開発チーム”を中長期的に構築。

テクノロジーの力で、世界を前へ

開発力と教育力を柱にし、IT開発チームとデジタル人材を、種から育てる。

業績ハイライト

Performance Highlights

決算年月		2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期 1Q	2026/3期 通期計画
売上高	(千円)	14,340,774	15,997,838	23,739,835	25,162,448	6,373,634	26,600,000
EBITDA	(千円)	1,226,900	651,393	362,120	625,903	197,901	780,000
営業利益	(千円)	1,133,696	589,410	90,859	495,539	183,757	700,000
経常利益	(千円)	1,135,706	567,920	82,483	494,535	180,815	660,000
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	705,194	244,215	-1,473,379	49,795	114,181	474,000
包括利益	(千円)	703,843	239,739	-1,516,051	-104,464	108,652	-
資本金	(千円)	1,101,531	1,109,972	1,112,183	1,112,363	1,112,363	-
純資産額	(千円)	4,470,860	4,687,486	3,070,641	2,871,147	2,874,225	-
総資産額	(千円)	5,874,294	8,999,379	7,174,136	7,374,904	7,606,957	-
1株当たり純資産額	(円)	422.26	441.05	272.09	267.71	-	-
1株当たり当期純利益	(円)	67.18	23.20	-142.75	4.82	11.05	46.37
自己資本比率	(%)	75.7	47.7	39.2	37.5	36.5	-
自己資本利益率	(%)	17.0	5.6	-41.5	1.8	-	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	369,207	688,038	-3,827	46,813	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-68,653	-1,560,893	317,149	-418,942	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	-91,339	1,274,450	-330,211	226,952	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	3,357,198	3,755,033	3,749,726	3,606,612	-	-
従業員数	(名)	384	444	268	290	297	-

補足データ（国内IT人材）

Supplemental Data (IT Human Resources Matching Business, Japan)

決算年月	2025/3期					2026/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
売上高 (千円)	3,694,229	3,740,740	3,889,417	4,038,811	15,363,198	4,127,455
広告宣伝費 (千円)	46,684	42,458	49,159	43,376	181,679	47,835
広告宣伝費率 (%)	1.3%	1.1%	1.3%	1.1%	1.2%	1.2%
セグメント利益 (千円)	295,536	296,183	333,104	359,266	1,284,091	348,206
セグメント利益率 (%)	8.0%	7.9%	8.6%	8.9%	8.4%	8.4%
稼働人月数 (人月)	4,626	4,666	4,822	5,011	19,125	5,104
受注単価 (千円)	824	826	830	826	827	832
新規取引企業数 (社)	37	48	47	48	180	58
フリーランス領域						
テイクレート (%)	17.6%	17.7%	17.8%	17.8%	17.7%	17.7%
ITフリーランス新規登録者数 (人)	419	383	345	396	1,543	417

*Make the biggest impression
in the 21st century*

GEECHS

geechs.com

注意事項

本資料に含まれる財務情報は監査法人による監査の対象外です。
また、見通しについての記述は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約・保証する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承下さい。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。